

国際仏教学大学院大学

平成23年度

# 事業報告書

自；平成23年4月 1日

至；平成24年3月31日

## 目次

### 法人の概要

1. 法人の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 建学の理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 法人の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 研究科の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - (1) 少人数教育
  - (2) 授業科目の設定等
  - (3) 客員教授、非常勤講師
  - (4) 留学生のための日本語
  - (5) 近現代仏教研究

### 事業の概要

1. 教育研究活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - (1) 東アジア仏教写本研究拠点の形成
  - (2) 公開講座の開催
  - (3) 仏典入門講座の開催
  - (4) 研究所講演会の開催
  - (5) 国際交流の推進
  - (6) 著作刊行物等の刊行
2. 学校法人及び大学の運営・・・・・・・・・・・・ 5

### 財務の概要

1. 資金収支計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
2. 消費収支計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
3. 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 経年比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

# 法人の概要

## 1. 法人の概況

法人名	国際仏教学院				
設置学校	国際仏教学大学院大学				
所在地	〒112-0003 東京都文京区春日二丁目8番9号				
研究科名	仏教学研究科				
開設年度	平成8年4月1日				
入学定員	4名	総定員	20名		
学生数	5年一貫制博士課程				
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	2名	1名	3名	0名	5名
					合計
					11名
附置・附属等	附置国際仏教学研究科、附置日本古写経研究所				
	附属図書館				

(単位:人)

教職員の状況			法人本部	大学	合計
	専任教員数		0	7	7
	専任職員数		1	12	13

(単位:m<sup>2</sup>)

校地・校舎等の状況	校地等		専用	共用	合計
		所有	9,107	0	9,107
		借用	-	-	-
	校舎等		専用	共用	合計
		所有	6,241.42	0	6,241.42
		借用	-	-	-

## 2. 建学の理念

仏教を人類共通の文化遺産として捉え、仏教及びそれに関連する文化についての学術的理論及び応用を研究教授してその深奥を究め、人類文化の進展に寄与することを理念とし、人種・国籍・宗教を問わず、自由闊達な教育環境により、国際的に通用する人材を育成し、これからの時代の仏教学教育・研究の学府としての役割を果たすことを目的とする。

西洋に発達した言語学、文献学に基礎を置く厳密科学の伝統と、漢訳仏典を中心として発達したわが国の東アジア仏教研究の伝統とを統合し、国際的視野に立って仏教学の研究と教育に邁進する。

国際化時代の状況に対応して、世界の学界に通用する仏教学の専門家を育成するとともに、世界の民族や宗教について研究を深め、キリスト教やイスラム教・ヒンドゥー教等について、世界的視野から研究し、民族や宗教の問題について、国際会議等で活躍できる人材の育成につとめる。

さらに人類が直面している困難な課題である生命倫理の問題や、地球の環境問題等を、教員と学生とが共同して研究し、脳死の問題や、安楽死・尊厳死等の問題をとおして、生命の尊厳への理解を深め、或いはまた仏教的視野から地球の環境問題を研究して、人間と自然とのバランスのとれた「共存」を探求するなど、「現代と仏教」の問題に取り組み、豊かな人格の養成を期する。

## 3. 法人の沿革

平成 7 年 12 月 22 日	文部省より学校法人国際仏教学院および国際仏教学大学院大学 仏教学研究科の設置認可を受ける
平成 8 年 4 月 1 日	開学
平成 8 年 4 月 8 日	第 1 期生入学式挙行
平成 13 年 3 月 28 日	平成 12 年度学位記授与式（第一回修了式）挙行
平成 22 年 4 月 1 日	文京区春日二丁目に新校舎を完成し移転する

## 4. 研究科の特色

本学の研究科は文献学と文化学の二軸より成っている。前者はインドから日本にいたる仏教を各種の文献に即して研究し、後者は歴史学、宗教学、美術史学等の視点を入れて仏教を総合的に研究することとしている。他に教員学生全員参加の形で仏教思想に於ける生命観（生命倫理）、自然観（環境問題）等の現代的課題を考察することとしている。

本学の第二の特色はその国際性に在る。教員及び学生はこれを広く国の内外から募集し、入学を許可された者は 5 年一貫教育の下で専任教員による論文指導を受け、在学中に博士論文を完成することを目指す。さらに随時、海外から優れた仏教学者、研究者を招聘して講演会、公開講義を催し、研究者間に活発な交流を図っている。

本学は、研究科、附置研究所（国際仏教学研究所、日本古写経研究所（平成 22 年 6 月設置））、附属図書館から構成され、それらは教育・研究を目指して有機的に機能するよう運営することとしている。国際仏教学研究所は本学の母体となったもので、過去四半世紀に 50 冊以上の研究書を刊行し、その活動は国際的に高く評価されている。附属図書館は厳選された内外の原典、研究書、逐次刊行物等 133,995 冊を擁し、仏教学図書館として世界に類を見ないものである。

(1) 少人数教育

本学は、収容定員20名の小規模な大学院大学であるため、ほとんど全ての科目が少人数教育で行われている。

(2) 授業題目の設定等

授業題目の設定などの面では、受講する学生の専門領域や研究能力を踏まえつつ、適切に対応している。特に、本来学部段階において身につけているべき基礎知識が大きく欠落している場合が多いので、初学年において補完するよう指導している。

(3) 客員教授、非常勤講師

客員教授、非常勤講師の招聘においても、在籍学生の研究に資する分野で国内外の最先端の研究者を選ぶよう努めている。毎年、外国から研究実績の顕著な研究者を客員教授として招聘し、授業を担当している。

(4) 留学生のための日本語

外国人留学生の割合が高いことに鑑み、本年度より修了要件の単位には含めないが、留学生のための日本語として「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」の授業を設けた。

(5) 近現代仏教研究

・ 仏教学と生命倫理

脳死と臓器移植をはじめとする生命倫理の問題をめぐって専任教員全員と非常勤講師によって仏教学の立場を中心とする種々の角度から考察する。

担当教員： 今西順吉教授、落合俊典教授、津田眞一教授、デレアヌ フロリン教授、  
松村淳子教授、木村清孝特任教授  
入澤 崇 講師（龍谷大学教授）  
田中ケネス 講師（武蔵野大学教授）  
橋本 崇 講師（東海大学教授）

・ 仏教学と環境問題

環境問題及び自然観の問題をめぐって、専任教員全員と非常勤講師によって仏教学の立場を中心とする種々の角度から考察する。

担当教員： 今西順吉教授、落合俊典教授、津田眞一教授、デレアヌ フロリン教授、  
松村淳子教授、木村清孝特任教授  
神塚 淑子 講師（名古屋大学教授）  
島藺 進 講師（東京大学教授）  
森 章司 講師（東洋大学名誉教授）

## 事業の概要（平成23年度）

### 1. 教育研究活動

#### （1）東アジア仏教写本研究拠点の形成

文科省補助金事業「私立大学学術研究高度化推進事業」の「学術フロンティア推進事業」に選定された「奈良平安古写経研究拠点の形成」（平成17年度より21年度まで）において共同研究機関とともに、国内の寺院・博物館および海外の研究機関や博物館等の協力を得て、奈良平安古写経の所在確定とデジタル画像の集積を行うとともに、データベースを構築し、日本の仏教文化の精華とでも称すべき古写経を公開すべく事業を進めた。平成22年度より新たに文科省より補助金を受け、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「東アジア仏教写本研究拠点の形成」として事業を継続していく。

- ・調査（含、研究会等出席）を実施した（国内8カ所39日、海外4カ国25日）
- ・画像データの作成：金剛寺（65巻、聖經数百点）、本学所蔵本（4点）、七寺（180巻）、四天王寺（9巻）、身延文庫（義寂『無量寿経述記』）、岩屋寺（宋思溪版一切経146巻）、金剛寺（金剛寺一切経42巻分再撮影）
- ・「日本古写経データベース」への新規追加：金剛寺『大般若経』乙本320巻、『経律異相』巻26、『大智度論』巻25（1紙分）
- ・公開研究会の開催（5/21（土）、11/12（土））
- ・IABS第16回学術大会におけるパネル発表（6/23（木）発表者6名）
- ・研究成果の出版
  - （1）ニュースレター「いとくら」第7号、2011年12月10日刊行、全16頁  
ニュースレター「いとくら」第3号と第4号を各1,000部ずつ増刷
  - （2）日本古写経影印集成の整備（『金剛寺一切経影印集成』は28分冊完成/納品済。『金剛寺一切経影印集成』の全冊数は95冊で確定。そのうち、昨年度完成分と合わせて88冊が完成納品済）
- ・東アジア仏教写本研究会を開催した。（全34回）

#### （2）公開講座の開催

一般聴衆を参加対象とした本学教授による公開講座を開催した。

開催日（5/21（土）、10/8（土）、11/12（土））

#### （3）仏典入門講座の開催

社会人を対象とした本学教授による仏典入門講座を開催した。（夜間）

：前期開催日（4/27（水）、5/25（水）、6/29（水）、7/27（水））

：後期開催日（9/28（水）、10/26（水）、11/30（水））

#### （4）研究所講演会の開催

招聘した客員教授ならび来日中の研究者による講演会を開催した。

開催日（12/2（金）、12/16（金）、12/22（木））

(5) 国際交流の推進

客員教授を招聘した(本年は、客員教授のみを招聘し、客員研究員の招聘は行なわなかった)。

客員教授 : Giovanni Verardi

(6) 著作刊行物等の刊行

- ・ 研究所著作刊行物として1点を刊行した。
- ・ 図書館刊行物として『受贈資料リスト』(No.14)を刊行した。

2. 学校法人及び大学の運営

(1) 学生ならびに若手研究者に対する経済的支援

- ・ 本学奨学金支給を実施した。
- ・ 授業料減免を実施した。
- ・ RA (リサーチアシスタント) を採用した。
- ・ PD (ポスドク) を採用した。

(2) 大学基準協会による大学評価(認証評価)に対する対応

平成23年3月に大学基準協会より受けた本学の適合認定における提言に対してその対応を継続する。

## 財務の概要

平成23年度決算についての概要は次の通りである。

消費収支計算書において平成23年度の帰属収入合計は、420,277,655円で前年対比60,871,130円の収入増である。前年対比で寄付金34,218,640円、補助金9,678,000円の収入減となったが、国債買替による資産運用収入が78,544,734円、資産処分差額が26,861,781円の収入増となったため、全体では約60百万円の収入増となっている。

基本金組入額合計は、平成22年度においては、新校舎移転という事情があり、それに伴う教育研究機器備品等の新規購入があったので、基本金組入額が337百万円となったが、平成23年度は、平年通りの基本金組入れを行ったため、大幅な減少となっている。

管理経費が約28百万円の減少となっているが、これは平成22年度に納付した校舎未完成に伴う約30百万円の固定資産税が、平成23年度においては、校舎が完成したので約50百万円の固定資産税となったためである。

### 1 資金収支計算書

収入の部		(単位:円)	
大科目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	差異(A)-(B)
学生生徒等納付金収入	8,830,000	9,560,000	△ 730,000
手数料収入	127,600	156,000	△ 28,400
寄附金収入	106,000,000	146,000,000	△ 40,000,000
補助金収入	41,405,000	51,083,000	△ 9,678,000
資産運用収入	228,471,853	149,927,119	78,544,734
資産売却収入	727,000,000	500,400,000	226,600,000
雑収入	2,194,581	2,074,926	119,655
前受金収入	2,985,000	3,065,000	△ 80,000
その他の収入	9,735,384	21,079,316	△ 11,343,932
資金収入調整勘定	△ 7,997,410	△ 2,576,150	△ 5,421,260
前年度繰越支払資金	369,188,316	724,546,854	△ 355,358,538
収入の部合計	1,487,940,324	1,605,316,065	△ 117,375,741

支出の部			
大科目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	差異(A)-(B)
人件費支出	220,809,323	224,033,904	△ 3,224,581
教育研究経費支出	85,212,555	83,447,885	1,764,670
管理経費支出	33,780,320	62,255,623	△ 28,475,303
施設関係支出	0	2,402,773	△ 2,402,773
設備関係支出	14,069,740	27,455,293	△ 13,385,553
資産運用支出	769,129,528	506,258,100	262,871,428
その他の支出	10,581,712	337,001,398	△ 326,419,686
資金支出調整勘定	△ 3,643,386	△ 6,727,227	3,083,841
次年度繰越支払資金	358,000,532	369,188,316	△ 11,187,784
支出の部合計	1,487,940,324	1,605,316,065	△ 117,375,741

## 2 消費収支計算書

消費収入の部 (単位:円)

大科目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	差異(A)-(B)
学生生徒等納付金	8,830,000	9,560,000	△ 730,000
手数料	127,600	156,000	△ 28,400
寄附金	111,986,840	146,205,480	△ 34,218,640
補助金	41,405,000	51,083,000	△ 9,678,000
資産運用収入	228,471,853	149,927,119	78,544,734
資産処分差額	27,261,781	400,000	26,861,781
雑収入	2,194,581	2,074,926	119,655
帰属収入合計	420,277,655	359,406,525	60,871,130
基本金組入額	△ 23,424,878	△ 337,332,794	313,907,916
消費収入の部合計	396,852,777	22,073,731	374,779,046

消費支出の部

大科目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	差異(A)-(B)
人件費	218,472,323	222,017,204	△ 3,544,881
教育研究経費	195,691,784	191,312,215	4,379,569
管理経費	58,694,696	87,099,322	△ 28,404,626
資産処分差額	5,387,962	311,427	5,076,535
消費支出の部合計	478,246,765	500,740,168	△ 22,493,403

## 3 貸借対照表

資産の部 (単位:円)

科目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	差異(A)-(B)
固定資産	19,778,707,401	19,837,311,678	△ 58,604,277
流動資産	363,845,755	369,927,917	△ 6,082,162
資産の部合計	20,142,553,156	20,207,239,595	△ 64,686,439

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部

科目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	差異(A)-(B)
固定負債	58,350,800	64,821,860	△ 6,471,060
流動負債	11,618,529	11,864,798	△ 246,269
負債の部合計	69,969,329	76,686,658	△ 6,717,329
基本金の部	19,564,895,948	19,541,471,070	23,424,878
消費収支差額の部	507,687,879	589,081,867	△ 81,393,988
合計	20,142,553,156	20,207,239,595	△ 64,686,439



#### 4 資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の経年比較

##### (1) 資金収支計算書の経年比較

(単位:円)

科目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	9,120,000	11,690,000	10,620,000	9,560,000	8,830,000
	手数料収入	155,800	193,800	128,000	156,000	127,600
	寄附金収入	146,000,000	146,000,000	146,000,000	146,000,000	106,000,000
	補助金収入	59,815,000	68,585,000	63,663,000	51,083,000	41,405,000
	資産運用収入	101,628,490	119,647,967	119,460,387	149,927,119	228,471,853
	資産売却収入	16,262,000,000	0	700,500,000	500,400,000	727,000,000
	事業収入	0	0	0	0	0
	雑収入	1,392,076	3,036,281	3,123,585	2,074,926	2,194,581
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	前受金収入	3,220,000	2,280,000	2,560,000	3,065,000	2,985,000
	その他の収入	2,055,118	1,242,500,969	1,793,986,932	21,079,316	9,735,384
	資金収入調整勘定	△ 1,757,630	△ 3,228,950	△ 12,462,500	△ 2,576,150	△ 7,997,410
	前年度繰越支払資金	293,952,254	363,733,307	391,551,951	724,546,854	369,188,316
	合計	16,877,581,108	1,954,438,374	3,219,131,355	1,605,316,065	1,487,940,324
支出の部	人件費支出	198,545,750	220,920,622	214,039,747	224,033,904	220,809,323
	教育研究経費支出	69,575,683	75,099,253	76,646,446	83,447,885	85,212,555
	管理経費支出	28,493,349	29,000,447	72,282,091	62,255,623	33,780,320
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
	施設関係支出	9,657,265,889	1,216,271,482	1,863,940,352	2,402,773	0
	設備関係支出	17,763,410	14,434,147	305,300,494	27,455,293	14,069,740
	資産運用支出	6,507,094,600	6,324,100	301,884,000	506,258,100	769,129,528
	その他の支出	38,372,608	6,022,469	8,292,051	337,001,398	10,581,712
	資金支出調整勘定	△ 3,263,488	△ 5,186,097	△ 347,800,680	△ 6,727,227	△ 3,643,386
	次年度繰越支払資金	363,733,307	391,551,951	724,546,854	369,188,316	358,000,532
	合計	16,877,581,108	1,954,438,374	3,219,131,355	1,605,316,065	1,487,940,324

##### (2) 消費収支計算書の経年比較

(単位:円)

科目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
消費収入の部	学生生徒等納付金	9,120,000	11,690,000	10,620,000	9,560,000	8,830,000
	手数料	155,800	193,800	128,000	156,000	127,600
	寄附金	146,367,700	146,544,252	148,235,053	146,205,480	111,986,840
	補助金	59,815,000	68,585,000	63,663,000	51,083,000	41,405,000
	資産運用収入	101,628,490	119,647,967	119,460,387	149,927,119	228,471,853
	資産処分差額	10,892,272,938	0	500,000	400,000	27,261,781
	事業収入	0	0	0	0	0
	雑収入	1,392,076	3,036,281	3,123,585	2,074,926	2,194,581
	帰属収入合計	11,210,752,004	349,697,300	345,730,025	359,406,525	420,277,655
	基本金組入額合計	△ 9,969,769,356	△ 13,455,043	△ 32,282,071	△ 337,332,794	△ 23,424,878
	消費収入の部合計	1,240,982,648	336,242,257	313,447,954	22,073,731	396,852,777
消費支出の部	人件費	205,640,350	225,024,722	222,040,747	222,017,204	218,472,323
	教育研究経費	84,224,005	80,609,467	82,429,718	191,312,215	195,691,784
	管理経費	30,530,584	29,446,341	72,571,903	87,099,322	58,694,696
	借入金利息	0	0	0	0	0
	資産処分差額	157,779	1,548,311	4,676,196	311,427	5,387,962
	消費支出の部合計	320,552,718	336,628,841	381,718,564	500,740,168	478,246,765
	当年度消費収入超過額	920,429,930	-	-	-	-
当年度消費支出超過額	-	△ 386,584	△ 68,270,610	△ 478,666,437	△ 81,393,988	
前年度繰越消費収入超過額	215,975,568	1,136,405,498	1,136,018,914	1,067,748,304	589,081,867	
翌年度繰越消費収入超過額	1,136,405,498	1,136,018,914	1,067,748,304	589,081,867	507,687,879	

(3) 貸借対照表の経年比較

資産の部

(単位:円)

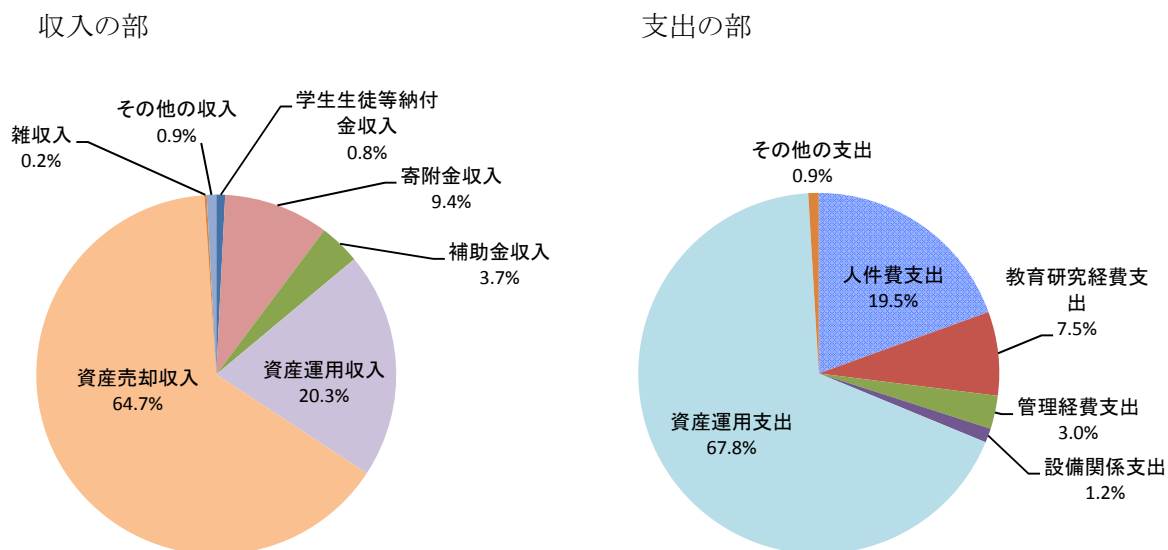
科目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
資産の部	固定資産	19,960,345,274	19,964,002,187	19,942,534,288	19,837,311,678	19,778,707,401
	流動資産	385,195,945	399,922,878	736,088,459	369,927,917	363,845,755
合計		20,345,541,219	20,363,925,065	20,678,622,747	20,207,239,595	20,142,553,156

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部

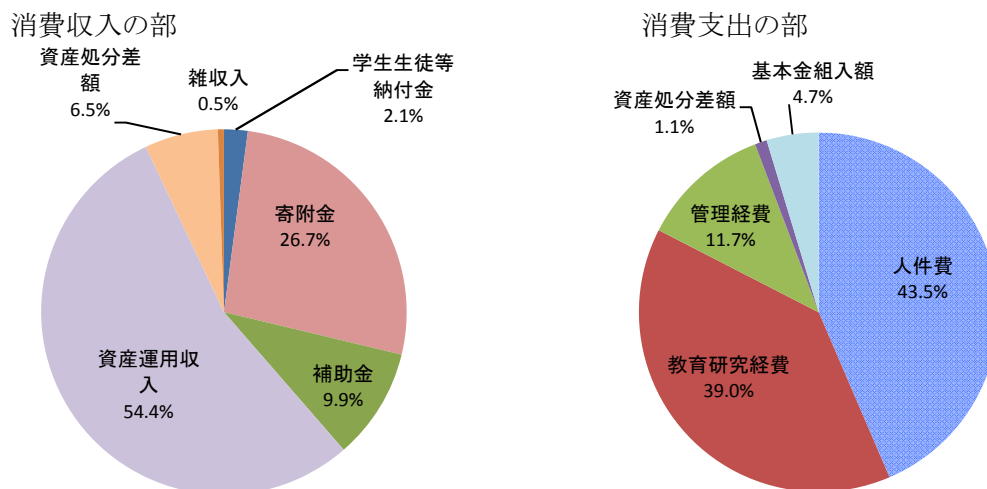
科目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
負債の部	固定負債	42,482,900	46,587,000	67,898,220	64,821,860	58,350,800
	流動負債	8,251,659	9,462,946	338,837,947	11,864,798	11,618,529
	計	50,734,559	56,049,946	406,736,167	76,686,658	69,969,329
基本金の部		19,158,401,162	19,171,856,205	19,204,138,276	19,541,471,070	19,564,895,948
消費収支差額の部		1,136,405,498	1,136,018,914	1,067,748,304	589,081,867	507,687,879
合計		20,345,541,219	20,363,925,065	20,678,622,747	20,207,239,595	20,142,553,156

5 グラフ

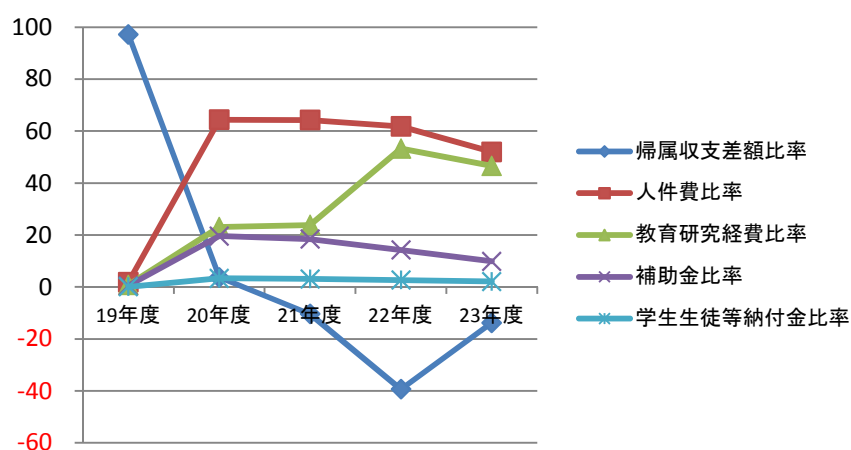
(1) 資金収支計算書(平成23年度)



(2) 消費収支計算書(平成23年度)



(3) 消費収支関係比率の推移



(計算式)

$$\text{帰属収支差額比率} = \frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$$

$$\text{人件費比率} = \frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$$

$$\text{教育研究経費比率} = \frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$$

$$\text{補助金比率} = \frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$$

$$\text{学生生徒等納付金比率} = \frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$$